

# 香芝市議会報告

## ～ vol.4 ～

# 野口まさふみ

発行日：2025.5月発行

発行者：香芝市議会議員 野口まさふみ



## 野口まさふみ プロフィール 1968年7月生まれ（56才）

- 大阪府立生野高等学校 卒業
- 国立金沢大学工学部 卒業
- 中央大学法学部 在学中
- 商社勤務を経て個人会社を設立
- 元国会議員秘書
- 現在、会社役員、塾講師、香芝在住30年
- 商社勤務時にシンガポール駐在経験あり
- 家族は両親と妻、子ども3人はようやく独り立ち



## 3月議会での一般質問

### 選挙前の議会質問！香芝市は人口増？それとも減少傾向？

野口が以前から香芝の課題と考える、少子高齢化。大学のレポート課題でも論じたばかり。市が香芝固有の原因をしっかりと把握しているかが肝！

**市の認識は？** 香芝市運営の基礎となる「第5次香芝総合計画」。令和6年で終了した前期基本計画では人口ビジョンについて『令和32年まで合計特殊出生率が1.8まで上昇する。また30代の転入が多い傾向が続き、令和42年に約7万人の人口規模を維持する』とされていた。

**結果は？** 令和元年以降、前述の人口ビジョンを下回って推移している。令和3年以降、総人口は減少に転じている。原因は転入の減少。特に、生産年齢人口と年少人口の減少が進行している。

また、若者の転出の増加も大きな課題。男女ともに進学・就職期の転出が多く、いずれ香芝に戻って定住してもらえるような魅力アップが必要だが、この部分で都会に負けているのが実情。

**実態** 世帯数は増加傾向で人口は減。新築戸建てや新築マンションなどが見られ、人口は増えてそうな印象だが、実情としては世帯当たりの人数がどんどん減っている。

**どうする？** これらの実態を次の基本計画に反映し、人口減少を食い止めることが重要。どんな施策を推進するか。

**市の答弁（今の市長の方針）** 主要駅前の再開発と人が集う新たな商業施設の整備、また、大阪都心部への所要時間の短縮をめざし鉄道会社との協議も進めていく。プラス、市外への戦略的な広報の強化。

**ヒント** 各自治体間の競争は進行の一途。便利でない街はどんどん選ばれにくく。先日行われた明日香村での自動運転バスの実証実験（奈良県主催）に参加、ここまで進んだかと感じた。実証実験を進めることで課題もより浮き彫りになり、実現を早めることが可能。





## 現在進行中の他の基本協定に影響は出ない?! 心配される旭ヶ丘小学校通学路歩道橋にまつわる動き

皆さん、香芝市の予算の金額、いくらぐらいかご存知でしょうか。新年度令和7年度当初予算の規模は345億円超。これだけ大きな予算ですから香芝市の自主財源だけでは足りません。100億円超もの国や県からの補助金等があるからこそ、私たち市民の日々の暮らしが成立します。ここまでは中学生や高校生でも知っている事実。

では、香芝市と奈良県が共同で工事を行うにあたり交わした約束（基本協定）を基に工事が実施された後、急に「支払う義務がない」と香芝市が言い、現在訴訟になっている事をどのくらいの方がご存知でしょうか。

この問題の発端は約10年前に遡ります。通学路の安全のため市が要望し設置された旭ヶ丘小学校通学路歩道橋（以下、歩道橋）ですが、国道の拡幅工事の際、利用者数が歩道橋設置基準を満たしていなかった事が判明。県から市へ改めて存続するかどうか確認されました。市の部局から県へ、架け替え工事を希望する旨の意向（市教育委員会の意向）が伝えられたのが約10年前の2015年。数年に及ぶ大掛かりな工事ですから工事費の総額は完了するまで確定できません。よって県と市は基本協定書を交わしました。ここで事前に互いの負担割合を決定・合意したわけです。

県は協定書の有効期限内に工事を完了させました。そのあとは、『事前に合意されたそれぞれの負担割合を基に市の負担額を決定→委託契約

の締結→市から県への支払』と進められる予定でした。この負担分については当時の市政も都度、市議会にきちんと諮り、市議会も審議・承認してきたわけです。

ところが、現市政は一転「支払う義務がない」と主張し、この3月議会閉会日の前日、市が県を訴えるという内容の議案が提出されました。熟慮の間もないまま採決に諮られることに。これら一連の動きの中、県議会でも当該事案が重視され、小林県議の県議会質問で議論がなされました。

小林県議より伺った県の説明や主張に大きな違和感は感じられませんでした。もちろん市の情報も整理したのですが、現状市が県と交わしている他の基本協定もあるわけで、そちらへの影響も心配されます。今回の市の主張が県と他の協働にいい影響を及ぼすとは到底思えません。野口は県を訴える議案に反対する事にしました。

すでにこの件は残念ながら訴訟となっています。この訴訟に何の意味があるのか。県はもう二度と香芝市と基本協定を結ばなくなるのでは。今後、県からの財政支援が細るのでは。未来の市民生活に悪影響が出る可能性が高まっただけでは・・・。当時市議会にいなかったものの今市議会にいる責任として、野口は慎重に事実を見極めるため、各所からの情報を集めながら、皆さまに情報を発信していこうと思います。

### ご報告

桜ヶ丘の事故現場の写真。  
雪の日の不幸な事故を受け、  
地域住民は一日も早い改善を  
望んでいます。  
現在、担当部局にて進みつつ  
あります。

